

『医療の未来とプラットフォーム学』

～ICT技術で切り開く健康や福祉の未来～

医療に関わる膨大なデータをどう扱うか？
ドラマ『コード・ブルー』のプロデューサー、
医療SaaS企業のメドレーと京都大学研究者が対話する



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

3
すべての人に
健康と福祉を

情報学と複数領域を連携させ、新しい価値創造を目指すプラットフォーム学。このプラットフォーム学を扱う京都大学「社会を駆動するプラットフォーム学卓越大学院プログラム」では、プログラムの一環として毎月セミナーを開催しています。第5回となる今回は「医療の未来×プラットフォーム学」がテーマ。SDGsのゴール3「すべての人に健康と福祉を」を目標に、日々進化するICT技術（遠隔医療、融合現実応用、AIによる診察など）と医療ビッグデータの活用最前線を研究者・企業担当者らに尋ねるとともに、それら技術革新が私たちの健康に対する認識や価値観などをどのように変革していく可能性があるか立場を越えて対話する場をご提供します。

〈イベント概要〉

- 開催：2021年11月24日(水)
- 時間：16:45～18:45(履修生は19:15終了予定)
- 主催：京都大学プラットフォーム学卓越大学院
- 協力：京大オリジナル株式会社／株式会社角川アスキー総合研究所
- 事前応募制／オンラインセミナー(Zoomウェビナー形式※)

※セミナーご参加には、お使いのパソコンやスマートフォンで、Zoomへ接続できる環境を事前に準備いただく必要がございます。



お申し込みはこちら
(11月24日12時締切)

登壇者

- 豊田剛一郎氏 株式会社メドレー 取締役医師
増本淳氏 プロデューサー／脚本家
黒田知宏 教授 京都大学医学部附属病院 医療情報企画部長／病院長補佐
原田博司 教授 京都大学 プラットフォーム学卓越大学院 プログラムコーディネーター



KUSP
Kyoto University School of Platforms

京都大学
プラットフォーム学卓越大学院